



## 令和 2 年 9 月号 吉良川老人クラブ末広会 No.478

花びらが透けてガラス細工のようになる花。サンカヨウ(山荷葉)花期は5月～7月。茎の先に直径2cmほどの白色の花を数個付ける。大小2枚付く葉はフキのような形で、花は小さい葉につき、葉の上に乗っているように見える。朝露や雨に濡れるとまるで氷のように透明感のある花びらへと変化する。別名「スケルトンフラワー」と呼ばれる神秘的な花。冷涼な高地で湿度が高く、緑の囲まれた山腹に生える多年草。サハリン、アメリカのアパラチア山脈、中国や日本の一部と極限られた地域でしか見られない貴重で幻想的な花です。

## 今月の定例会は

九月二五日(金)

公民館で開催する

人権セミナーに参加します。

講師は、昨年の講演を聞いた社会教育主事の田村将宏先生です。高齢者に大変ためになるお話になると思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で人数が制限されます。参加者は事前に関野まで申し込んでください。

※必ずマスク着用、手・指の消毒で参加のしてください。

## ◆物作りの日は、

一日、八日、十五日、二九日の4回

※みんなで作る末広便りです。皆さん、どしどし投稿をして下さい。

## ◇末広歌集投稿欄◇

☞ 猛暑です ご仏壇へも 風送る

☞ トラベルも いずこへ行くも ところなし

☞ 手に負えぬ 可憐な花の 蛍草

☞ ラブラブの 頃はいつだったのか 花の下

☞ コルセット ブラも仲良く 九十歳

☞ 苦いのも 甘いのも酸いのも 味のうち

☞ 虫干しに 思い出あふれ 汗を拭く

☞ ひくげの木 夏の日差しに清々と  
花満開に咲き誇るかな

※ みんなが作る末広便りです。

あんな事、こんな事、人生の歩み、体験談、おかしな話などなど  
どんな事でも、どしどし投稿して下さい。

## おじいさんの屁理屈

年齢を重ねて行くと共に、時代もどまることがなく大きく移り替わっていく。わかりきったことだが、その変化を当たり前に受け取れなく、特に置き去られたようで腹立たしく感じる。パソコンもスマホも扱えず、テレビを見ても、カタカナ語が飛び交い意味不明。アナウンサーやわけ解らんタレントが面白くないのにオーバーアクションでニヤニヤ、ギャーギャー騒ぎ立てている。笑うことは身体に良いし、楽しい。ことだが全てに自己中心的に見えて、はなはだ腹立たしい。わが友曰く「我々は廃人よやあー、賞味期限も切れちゃうに、ガタガタゆうな・・・」

吉良川のおじいから  
次回も楽しみにしちゃよきや





令和二年度 7月シルバーセミナー



2020/7/17 10:07

